

冰山モデルに基づいた

支援計画立案のプロセス

行動障害のある方の支援には、行動の背景にある障害特性や環境要因を整理し、根拠に基づいた支援を行うことがとても重要です。

本研修は、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）でも学ぶ「冰山モデル」を活用して、行動の意味についての理解を深めるとともに、適切な支援方法についての検討を行い、支援技術の向上に資することを目的とします。

〔日時〕 令和元年 12月17日（火）15：30～17：30

〔場所〕 三浦しらとり園 会議室
横須賀市長沢4-13-1
京浜急行線 京急長沢駅より徒歩12分
※駐車場に限りがあるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。

〔講師〕 神奈川県立中井やまゆり園 中山 則和 氏

〔定員〕 30名程度

〔対象者〕 横須賀三浦圏域を中心に、神奈川県全域の関係機関職員及び教員等

〔申し込み方法〕 参加申込書に、ご氏名、ご連絡先等の必要事項を記載の上、FAXにてお申し込みください（申し込み締め切り 令和元年11月30日）

※応募者多数の場合は横須賀三浦圏域の方を優先させていただきます。
定員を超えた場合のみ、メールにてご連絡させていただきます。

本研修は、神奈川県強度行動障害対策研修の一環として実施する研修です。強度行動障害対策事業実施施設（中井やまゆり園・子ども自立生活支援センター・津久井やまゆり園・愛名やまゆり園・七沢学園・三浦しらとり園）の一部で、同内容で実施されます。

【問合せ】

社会福祉法人清和会 三浦しらとり園

地域サービス班 武田・佐藤（直）

（TEL）046-848-6346（直通）

（FAX）046-848-5258